

平成 25 年度 総合問題 (第一部 商経学科) 解答例

問 1 (50 点)

【採点のポイント】

・選挙で一票を投じる基準と考え方について、資料を参考にして、論理的に述べられていること。

【解答例】

選挙で一票を投じる際の基準としては、政策、資質、実績といったものがあげられる。まず、政策を基準と定める場合、党の掲げるマニフェストが「国民との契約」であり、それが実行されることが当然だと考えられている。だが、具体的な政策を並べすぎると、政治家の裁量の範囲が狭くなり、状況に応じた政権運営ができないという欠点もある。

次に、資質を基準と定める場合、各党首の人柄や政治への熱意などが重要視されることから、この基準は「国の先頭に立つ人間によって日本の未来が決まる」という考え方を反映している。ただしこの方法は、アメリカの大統領選挙を見ても分かるように、指導者の資質を見抜くのに時間をかけて政治家を見定めなければならず、日本の文化や考え方に合うかどうかという問題が残る。

最後に、実績を基準と定める場合は、政策がよくても、政策通りの結果を出せなければ意味がないという考え方で、政策実現能力の有無を見定める必要がある。(402 字)

問 2 (50 点)

【採点のポイント】

・問 1 の解答を踏まえ、自分の考えがまとめられていること。

【解答例】

[政策]

私は政策を基準に一票を投じるのがよいと思う。なぜなら、政策はその政党の目標や具体的方針をよく表していると思うからだ。政党が具体的な政策を列挙することに対してはその政策に縛られてしまうという批判もあるが、政党はまずこれからの政策を国民に具体的に示し、その実現に向けて努力していくということが本来の政治のあり方ではないかと思う。そのことによって国民もその政党が主張する方向性をはっきり認識することができると思う。政策を基準にして投票することによって、政治家の資質や実績で選ぶよりも今後の政治への期待も持つことができ、はっきりとした将来像をイメージできるはずである。

〔実績〕

私は、実績を基準にして一票を投じるべきだと考える。なぜなら、実績を積んできた政党や議員はこれまでさまざまな国の状況を経験し、その経験の中で積み上げてきた実績を活かして国や国民のために政治を行うことができるからだ。いくらよい政策を掲げても、実際にその政策を実行して実績として残せなければ、その政党に一票を投じた人の考えは全く反映されないことになってしまう。また、いくら資質があっても、本当に質の良い政策が行われなければ、国や国民の将来のためにならない。国民の将来のために現状を変えていくためには、実績を積んできた政党や議員を選んでいくことが一番大切だと思う。

〔資質〕

私は、指導者に資質があるかどうかを基準に一票を投じるべきだと思う。アメリカの大統領選挙のように、資質があるかどうかを見抜くには長い時間がかかる。しかし、首相が次々と交替し、国民が政治に期待を抱けない状況を変えるためには、本当に指導者としてふさわしい人物を国民全体で見定めていくべきだと思う。いくら立派な政策を掲げても、国の代表であるという責任感や意欲、能力に欠けていては話にならない。予測が難しい将来にどのような政策を行う予定であるかということに期待するよりも、どのような状況にも柔軟に対応していける力を持った人物を選ぶ方がより国民のためになると思う。

問3 (50点)

【採点のポイント】

- ・自分の考えが論理的に表現できていること。
- ・抽象的な一般論ではなく、具体的イメージをもって記述できていること。

【解答例】

新聞が主義・主張を持つメディアであるということは、そこで報道される事実は特定のフィルターを通して切り取られてきた事実であるということだ。だからこそ、新たな事実が判明すると主義・主張を変更せざるを得ない事態にもなる。こうした新聞というメディアの限界を前提に、市民が様々な現場から発信するフェイスブック、ツイッターなど新しいメディアによって補完する時代だと思う。

問4 (10点, 各5点)

【解答】

( This ) is a contract ( with ) nations.

問5 (10点)

【解答】

ア

問6 (10点)

【解答】

オ

問7 (20点)

【解答】

政治は民衆の生活と深くかかわっている。しかし、一般に最近の若者は、政治に無関心である。